

伊那市 官民共創の新しいまちづくり協議会

会議名	第 25 回 まちなかエリア高度化 WG			
開催日	2026 年 3 月 5 日(木)			
開催時間	開会	18:00	閉会	19:10
開催場所	市役所 1 階 103 会議室横 Web Meeting Room			
出席者				
協議会・WG メンバー	会場：黒河内貴氏 OL：政金裕太氏			
事務局・職員	会場：企画部企画政策課 織井邦明課長、有賀慎企画政策課長補佐 村田和也新産業技術推進係長			
関係者				
欠席者	志知貴文氏、鈴木孝之氏、細谷啓太氏、土田智氏、瀧内貫氏			
議事	1、第 9 回「対話・つながり・実現の場」振り返り			

議事項目	概要	次のステップ
1、第 9 回「対話・つながり・実現の場」振り返り		
第 9 回「対話・つながり・実現の場」の振り返り	<p>○事務局</p> <p>－第 9 回「対話・つながり・実現の場」振り返り・まとめ資料の説明－</p> <p>○WG メンバー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園田さんの話では、松本城三の丸エリアの取組において、丁寧にヒアリングをし、キーマンを押さえ、的確にプランを立て、人を動かしていることが最も印象に残った。 ・(有)ハートビートプランが松本市でのまちづくりに対して支援しているような役割を、伊那市官民共創の新しいまちづくり協議会（以下「協議会」という。）が果たせればよい。 ・協議会がどのようにまちづくりに取り組めばよいかを園田さんに指導してもらえるとよいと思った。 ・新さんの話では、まちづくりのプロセスを変える、まちを高度化するなど、どんな方向に進む場合でも、子どもを含めた住民の声を聞くことが非常に重要だと感じた。 ・高遠町にあまり活用されていない駐車場（以下「高遠町の駐車場」という。）がある。例えばその土地を芝生化することでマルシェが開催できるような場所になれば高遠町にとっても素晴らしいことである 	

	<p>し、その事例を実績としてまちなかにも展開できるかもしれない。</p> <ul style="list-style-type: none">・まちなかエリア高度化 WG の次のテーマとするかは別として、実際に居心地のよい場所をプレイスメイキングできればよいと思った。高遠町には実際に実験できる具体的な土地がある。 <p>○WG メンバー</p> <ul style="list-style-type: none">・トークセッションの聞き手としては、園田さんや新さんのような中間支援的な立場での動きなどとても参考になる話をたくさんお聞きできたが、実際にイベントをしたり動いている人たちがどういうプロセスでそこに至ったかという話を、もっと引き出せばよかったというのが反省である。・松本城三の丸エリアでは、各界隈の取組をリーダー・サブリーダーが引っ張り、行政が支援している。おそらくリーダー・サブリーダーは、元々活動的でまちの動きに敏感な方だと思うが、そういった方々がもっと動きやすくなるにはどうしたらよいかをもっと深掘りできればよかったと思っている。・高遠町の駐車場は非常に魅力的である。何かやらせてほしい。 <p>○WG メンバー</p> <ul style="list-style-type: none">・高遠町の駐車場は、実験台として使ってもらえる。一度 WG メンバーに現地を見てもらえればと思う。 <p>○事務局</p> <ul style="list-style-type: none">・ヒアリングやデータの重要性が非常に参考になった。園田さんや新さんは、業務を受託したり調査研究を依頼されておこなっていたと思うが、それらを行政が直営でおこなうとなったときに果たしてできるのか不安である。・知らなかった人同士が知り合って、お互いの考えを話して、聞いて、つながることの重要性もお聞きしたので、「対話・つながり・実現の場」は継続して開催していく必要があると感じた。・一方で、この WG として、何か「やりたい」がある人を深掘りしてヒアリングするというようなことはしてこなかった。我々がキーマンとなりうる人のことをもっと知ることは必要かもしれない。・また、市民の方の「やりたい」を表に出していく機会を作っていくことも大切であるとの話もあった。横浜市では、地域の問題解決・魅力向上を実現するための施設整備に対して支援・助成を行う「ヨコハマ市民まち普請」という事業があり、公開でコンテ	
--	---	--

	<p>ストを開催、審査もしておりすごい盛り上がりであるという話があった。</p> <p>○WG メンバー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実際にお金を出したり、土地を提供したりしてくれる方には直接会って話を聞かないとアクションが動いていけないと思う。 <p>○事務局</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループディスカッションでは、「対話・つながり・実現の場」のような場になかなか参加できない皆さんの意見も引き出せる場があるとよいという意見があった。 ・また、せっかく集まったのだから何かを成し遂げたい。そのためのスモールステップが大事であるという話がされ、例えば旧ニシザワスーパーの建物活用や、セントラルパークでビアガーデンを開催して、そこで語ってみたいといった意見が出された。 ・高遠町の駐車場で何をやりたいか、市民の皆さんにアイデアを募ってプレゼンをしてもらうのは面白いと思う。 <p>○事務局</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講師お二方から具体的な事例のお話をいただき、大変参考になった。特に行政の立場で「やりたい」を実現させるための支援体制を一步前に進めていかなければならないと感じた。 ・また、取組当初は行政が支援したとしても、支援し続けるのは難しいので、まちづくりの取組が持続可能となるような体制を構築するために、最初の段階でしっかりとした設計をしていく必要があり、その役割は行政側にもあると感じた。 ・午前中の講師お二方とのまち歩きを通して、あらためて空き地を活用できればと感じた。また小沢川の上流左岸に車が通らないスペースがあり、小沢川を絡めて活用ができるとよい場所になるのではないかと感じた。 <p>○WG メンバー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政の役割については考えさせられた。来年度、協議会、及びまちなかエリア高度化 WG でどんなことに使える予算をどの程度持っているかを共有してほしい。 	<p>まちづくり関係の来年度予算について、次回 WG で示す。</p>
<p>2、まちなかエリア高度化 WG の今後の進め方について</p>		
<p>2026 年度の WG</p>	<p>○WG メンバー</p>	

スケジュールについて	<ul style="list-style-type: none">・まちなかエリア高度化 WG は、2025 年度試行錯誤しながら、「対話・つながり・実現の場」を3回（キックオフ含めると4回）実施してきた。2026年度に向けて、WGとしての年間計画を立てたほうがよいと思うがいかがか。 <p>○事務局</p> <ul style="list-style-type: none">・年間スケジュールはあった方がよいと思う。・対話を通して「やりたい」ことは挙がるが、誰が主体になるかというところで話が止まってしまう。主体になる人を見つけるという意味でも、例えば来年度末に「やりたい」のプレゼン大会を設定し、そこに向けて一本釣りであったり、主体となりうる人に働きかけていくような1年にしてはどうか。	
社会実験	<p>○WG メンバー</p> <ul style="list-style-type: none">・まちなかエリア高度化 WG はリビングラボであるという話があるとおり、これから社会実験をどんどんやっていくフェーズだと思っている。・リビングラボは、数値目標等をカッチリ定めずに、とりあえずやってみる。トライアンドエラーで社会実験を繰り返すもので、松本城三の丸エリアでやっていることはリビングラボに近いと思う。・「やりたい」人をプレゼン大会で募って、どんどん実験していくというのは一つのやり方としてあると思う。・プレゼン大会を来年度末に開催するとした場合、それまで社会実験を何もしないことになってしまう。「対話・つながり・実現の場」自体を会議室でなく空き地や公園で開催すれば、それ自体が社会実験という形になる。できるならばコーヒー屋さんに出店してもらうなどすればなおよい。この1年間やってきたこととは違う方法で屋外に出てはどうかと思う。 <p>○事務局</p> <ul style="list-style-type: none">・まち歩きを通して、多くの参加者が気になるスポットとして挙げたセントラルパークは社会実験の場の候補地となるのではないか。 <p>○WG メンバー</p> <ul style="list-style-type: none">・天気にもよるが、セントラルパークに椅子を並べてみんなでセントラルパークの未来について対話するというのは気持ちよさそうである。実際に外で会議をした方が、上司にも言いにくいことを話しやすいらしい。環境を変えてみるのは面白い。・私自身もやる側として企画したいと考えている。	

<p>専門家の話を引き続き聴くことについて</p>	<ul style="list-style-type: none">・使っていない駐車場を公園に変えるパーキングデイという取組がある。セントラルパークの駐車場から1日車を出してもらって、セントラルパーク全体を公園にする社会実験をしてみたい。・パーキングデイは毎年9月第3金曜日に開催されているので、今年だと9月18日になる。その世界的なムーブメントに乗ってやるのがよいと思う。 <p>○WG メンバー</p> <ul style="list-style-type: none">・高遠町では朝マルシェのような取組はない。高遠町の自分が所有している土地でもフリーマーケットをやりたい人はいるため、出店する人もいるかもしれない。社会実験を通じて主体になる人、関わりたい人を見つけ出す効果もありそうである。 <p>○WG メンバー</p> <ul style="list-style-type: none">・場所と行政手続きはこちらでやるので、やりたいことのアイディアを出してくださいと働きかけて、2026年度中に社会実験を「対話・つながり・実現の場」として最低1回はやりたい。・前々回の「対話・つながり・実現の場」で話を聞いてみたいと挙げていただけた講師の方がたくさんおり、まだ参加者の需要があると思う。屋外の社会実験の場で講師として登壇いただくような時間を設けるのもよいと思う。 <p>○事務局</p> <ul style="list-style-type: none">・園田さんや新さんとはまた違った、松本城三の丸エリアの取組でいうところの界隈のリーダーやサブリーダーに当たるようなプレイヤーの方が、どういった背景で取組に至ったのかといった話は需要があると思う。実際に前々回の「対話・つながり・実現の場」でも話を聞きたい方の候補として挙がっていた。 <p>○WG メンバー</p> <ul style="list-style-type: none">・次回 WG で、2026 年度のスケジュールイメージを決める。プレゼン大会をやるならば、どんなコンセプトでやるか、事前アイデア募集をどうやるかといった話ができればよい。・次回 WG の冒頭で、リビングラボのイメージを共有するために、政金さんから事例等を含めて説明をいただいてもよいか。 <p>○政金裕太氏</p> <ul style="list-style-type: none">・承知した。	<p>次回 WG では 2026 年度の WG の取組スケジュールを考える。</p> <p>次回 WG 冒頭に政金さんにリビングラボについて説明いただく。</p>
---------------------------	--	---

■今後のスケジュール

<次回 WG>

- ・2026年3月25日(水)18:00～ 市役所3階303会議室